



Stella



大阪府教育センター附属高等学校 校長通信 No.9 令和7年12月発行

今日は、**最近覚えた言葉シリーズ第2弾**をお届けしたいと思います。

(ちなみに、第1弾は5月号でお話した「バタフライエフェクト：非常に小さな出来事が、最終的に予想もしていなかったような大きな出来事につながる」でした)

第2弾は「陽口」という言葉です。「ひなたぐち」と読みます。漢字を見て、意味が想像できますか。「陽」の反対は「陰」ですよね。なので、これは「陰口（かげぐち）」の反対語として、最近使われるようになった言葉で、**「本人がいないところで褒める、感謝する」**という意味。

みなさんもちょっと想像してみてください。直接、褒め言葉を言ってもらえるのも、もちろんうれしいけど、自分のいないところで、〇〇さんが褒めてたよって話を聞いた方が、嬉しさ倍増のような気がしませんか？

(実はこれって、心理学で「ウィンザー効果」っていうらしいです。第三者から聞いた情報の方がより信頼されるという心理効果なんですって。)

今日の終業式でも、**「言葉を選ぶ力を大切にしてほしい」**というお話をしました。

2026年は、あちこちで「陽口」を言いまくって、みんなでぼかぼかあったかい気持ちになりましょう。

最後に「私の本棚」紹介です。

まさしく自宅の「私の本棚」に眠っていた本で、もう一回読んでみようと思いました。

読むときのタイミングで、本からもらうメッセージって変わりますね。



～ 私の本棚 ～

本と向き合った時間・記録はあなただけの大切な財産です。

1冊1冊との出逢いを大切にしましょう。

冊数	出逢った日	本のタイトル	著者
9	11/7	流星ワゴン	重松 清
		感じたこと・考えたこと・覚えていたいこと	
		「あのとき、違う選択をしていたら…」と後悔するよりも、 「今からできることをやってみよう」という勇気をもらえる本でした	